

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和5年5月31日
作成担当部署 芽室町魅力創造課

2 第三セクターの概要

法人名 めむろ新嵐山株式会社
代表者名 代表取締役 佐野 寿行
所在地 北海道河西郡芽室町中美生2線42番地
設立年月日 平成14年3月6日
資本金 30,000千円（うち芽室町の出資額(出資割合)30,000千円(100%)
業務内容 国民宿舎・スキー場・キャンプ場の管理及び運営業務

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、宿泊施設の経営及び維持等の事業を営むことを目的として設立され、町が町民の健全なレクリエーションと健康の増進及び観光の振興を目的として設置した新嵐山スカイパークの国民宿舎等の指定管理者として、平成18年度から施設の管理運営を担っている。

経営状況については、令和元年度から令和3年度までの直近3期は営業損失を計上しており、特に令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、宿泊・宴会部門など宿舎の利用自粛が続き、経営努力だけでは対応しきれない状況もあり、令和3年度には債務超過に陥っており、事業の継続性に支障が懸念される状況にある。

このような中、当町としては様々な関与を続けており、将来にわたり当該施設の持続可能な管理運営を実現するため、当該法人の現状把握をはじめ、今後の指定管理事業への影響軽減のため、令和4年度に財政支援を行っている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

新嵐山スカイパークは、本町最大の観光地であり、当該法人が管理する施設は、国民宿舎・スキー場・キャンプ場など着地型観光を推進するための中心的な施設である。しかしながら、これらの施設は等しく稼働しているわけではなく、特に繁忙期が限定される施設については、施設の老朽化による商品劣化もあいまって維持経費が経営を圧迫している状況である。

今後の経営健全化に向けた取り組みとして、町が策定した新嵐山活用計画に基づき、当該法人が行動計画を定め、ターゲット毎の戦略を進めながら、運営上の効率化と売上確保につなげるとともに、各コストの見える化による業務の効率化を図ることで経営改革を実施し、経営健全化に取り組む方針である。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

当社の債務超過の要因が累積赤字（新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上減少）と収益が見込めない施設の経営負担であることから、グリーンシーズンでは特徴づけに注力した新しい価値観のアピールやウィンターシーズンでは多様性のあるファーストタイマー（初心者）に優しいフィールドを目指した取り組みを進め、且つ運営・管理手法の見直しを図るとともに、コロナ禍においても大きな成果を挙げているキャンプ・レンタル事業の販売強化など市場を見極めた戦略の投下を重点に、更なるコスト削減を進めながら、利益計上のための経営改善により、早期の債務超過解消を目指す。

6 法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸借対照表から	資産合計	44,131	52,033	21,779
	（うち現金・預金）	(38,300)	(47,364)	(4,224)
	（うち売上債権）	(1,777)	(1,102)	791
	（うち棚卸資産）	(1,498)	(1,358)	(2,646)
	負債合計	12,751	35,114	63,003
	（うち町からの借入金）	0	0	0
	純資産額	31,380	16,919	△ 41,224

	項目	金額（千円）		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
損益計算書から	売上高	191,216	162,420	149,172
	売上原価	31,271	13,381	15,816
	販売費及び一般管理費	166,578	177,545	206,531
	営業外収益	1,581	15,429	15,212
	経常損失	△ 5,052	△ 13,077	△ 57,963
	特別損失	7,107	1,384	180
	当期純損益	△ 12,159	△ 14,461	△ 58,143